

今週の株式相場見通し

* 日経平均 22,000~23,500円 TOPIX 1,740~1,860
 * 期待材料 好調な企業業績 諸外国に比べ安定した政治情勢 円安 企業統治改革 米国株高
 * 不安材料 中東情勢 北朝鮮情勢 トランプリスク顕在化

8日までに開示された企業の業績は、事前の予想を上回る好調な内容となっている。日経平均の予想EPSは、採用銘柄の定期入替が実施された10月2日時点においては1,410円程度であったが、11月8日には1,500円を上回る水準まで切り上がってきた。日経平均に採用される225社のうち、10月以降に通期純利益予想の修正があった企業は95社で、うち81社が上方修正となっており、225社の合計利益額は上記期間中に純利益で4.8%(経常利益で4.0%)上方修正されている。なお、日経平均採用の3月期及び12月期決算企業のうち8日時点で四半期決算の発表を終えていない企業は58社あるが、この58社の通期純利益予想についてはQUICKコンセンサスを用いたうえで日経平均の予想EPSについて計算すると、1,530円程度となる。同EPS予想を前提とし、過去4年間の平均PERである15.1倍で評価すると約23,100円、アベノミクス始動以降の局面で業績見通しが上方修正トレンドにあった際に概ね上限となってきたPER16.5倍で評価した場合は25,245円という試算になり、バリュエーション的には一段の株価上昇余地があるものと思われる。ただし、ここまでの上昇ペースが急ピッチであったことから、スピード調整局面の到来も視野に好業績銘柄の押し目買いスタンスが有効と思われる。懸念材料としては、引き続き地政学的リスクには留意したい。北朝鮮情勢に加えて、ここにきてサウジアラビアとイランの対立激化を筆頭に、中東からも気懸りなニュースが増加しつつあり注視したい。(11月9日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
11/13 (月)	楽天(4755)3Q決算(15:00) みずほFG(8411)2Q決算(15:00)	ASEAN首脳会議 [独]医療機器見本市「メディカ」(~16日)
14(火)	MSCI指数定期銘柄入れ替え発表 防衛装備庁技術シンポジウム(~15日) 電池討論会(~16日) 郵政3社2Q決算(15:00) 三菱UFJFG(8306)2Q決算(16:00) 三井住友FG(8316)2Q決算(17:00)	東アジア首脳会議 [香港]化粧品・美容関連製品見本市(~16日) [中]10月鉱工業生産(11:00) [中]10月小売売上高(11:00) [中]10月固定資産投資(11:00) [独]11月ZEW調査(19:00)
15(水)	2017/IoT総合技術展(~17日) 7-9月期GDP速報値(8:50) 10月の訪日外客数(16:00)	[米]セキュリティ産業展示会(~16日) [米]10月消費者物価指数(22:30) [米]10月小売売上高(22:30)
16(木)	ケアメディカル産業展(~17日) アジアプロ野球チャンピオンシップ2017(~19日)	[米]10月鉱工業生産(23:15) [米]テスラEVトレーラー テスラ・セミ発表 10月の欧州新車販売
17(金)	東京海上HD(8766)2Q決算(13:20) MS&ADHD(8725)2Q決算(14:40) SOMPOHD(8630)2Q決算	[米]10月住宅着工件数(22:30) [中]広州国際モーターショー(~26日) NAFTA再交渉第5回会合(~21日)
18(土)	日本臨床細胞学会秋期大会(~19日)	サッカーアジアチャンピオンリーグ決勝第1戦
19(日)	福島市長選挙	F3マカオGP決勝

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)
 本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

マルマエ (6264)

東証マザーズ



	16年8月期		17年8月期		18年8月期(予)		株価(11/9)	1,468 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	機械
売上高	2,242	5.6%	3,035	35.4%	4,000	31.8%	売買単位	100 株
営業利益	488	8.5%	764	56.5%	1,000	30.7%	PER(予想)	26.2 倍
経常利益	458	5.1%	737	60.9%	980	33.0%	PBR(実績)	5.6 倍
当期純利益	363	-35.0%	538	48.2%	668	24.0%	ROE(実績)	26.1 %
EPS(円)	34.5		50.7		56.1		配当利回り(予想)	1.4 %
配当金(円)	7.5		10.0		20.0		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

昭和40年に大手製紙会社の設備メンテナンス・機械製作・修理を主な事業として創業。平成10年からは、マシニングセンタやNC旋盤を活用した切削加工事業へ転換し、現在では半導体製造装置や液晶製造装置に使用される基幹部品の製造を主に行っている。17年8月期の売上高構成比は半導体分野70.9%、FPD分野25.4%、その他3.8%になっている。16年8月期における主要顧客向け売上高比率は日本発条向け23.7%、東京エレクトロン宮城(プラズマエッチング装置の開発・製造を行う東京エレクトロンの子会社)向け18.8%、ワイエイシイ向け10.2%になっている。

17年8月期決算は前年同期比35.4%増収、56.5%営業増益、受注は62.1%増、受注残は130.5%増。微細化が進むロジックやデータセンタのSSD化に伴う3D NANDの投資が積極化し、半導体分野の受注が前年同期比95.2%増。3D NANDの製造にあたり重要装置になるエッチング装置、成膜装置向け部品の需要が特に伸長している。需要拡大に合わせて設備を強化し、生産体制の強化を進めたことで売上が四半期ごとに拡大。生産体制強化でリードタイムが縮み出荷が進んでいることで、月次の受注残の伸びは一服している。

今期は前年同期比31.8%増収、30.7%営業増益計画。半導体分野は前年同期比40%以上の増収計画。設備投資額を前年同期比2.3倍に拡大させ、さらなる生産体制の強化を進める方針。3D NAND向け投資は、設備投資額の半分がエッチング関連の投資になっており、今後2年程度は活況が続く見込みで、主要顧客の東京エレクトロン宮城向け売上の拡大が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(11/9) 売買単位	コメント
アドウェイズ (2489) 東証マザーズ 545円 100株	上期決算は前年同期比 4.6%増収、営業黒字転換。競争が激しく利益が出ない代理店事業から徐々に撤退していることで、売上はあまり伸びていないが、業務効率化に伴い販売管理費の抑制が進んでおり、通期の営業利益計画に対する進捗率は 67.3%と良好。5月から本格展開を始めた自動広告配信プラットフォームの「UNICORN」の出足が好調で、「UNICORN」の2Q売上は1Q比約2倍に拡大。広告の不正対策を強化したことで、広告の高パフォーマンス化を実現しており、大型案件や大手クライアントとの取引数が増加している。(松本 直志)
コマツ (6301) 東証1部 3,849円 100株	2Q累計決算は、中国やインドネシアの回復、買収したKMC事業の想定以上の改善、高収益な部品・メンテナンスの好調等を受けて前年同期比 45.6%増収、75.6%営業増益で着地。2Q累計業績の予想については開示していなかったが、社内計画を大きく上回る着地であったとし、また、下期についても建機、鉱山機械とも堅調に推移する見込みであることから、通期計画を上方修正。事業環境や下期1ドル105円とした為替前提等をふまえると保守的計画と思われる。(多功 毅)
ローム (6963) 東証1部 11,920円 100株	上期決算は前年同期比 16.6%増収、88.5%営業増益。ゲーム機の新機種や産業分野、エアコンなど白物家電へのパワーデバイスの採用拡大が想定以上に進行し、通期計画を上方修正。車載やFA向けなど産機向けが継続的に拡大しており、今期の売上比率は44%(04年は16%)へ拡大する見込みであり、21年3月期には50%まで引き上げていく方針。EV向けではインバータ、オンボードチャージャー、DC/DCコンバータ、電動コンプレッサの4つのブロックでSiCパワー半導体などの採用拡大が見込まれており、SiCパワー半導体は生産能力アップを前倒しで実施する方針。(松本 直志)
日東電工 (6988) 東証1部 11,435円 100株	スマホ向けの液晶ディスプレイ用光学フィルムが好調に推移したうえ、北米スマホメーカーの有機ELモデル向けにタッチパネル用導電性フィルムや工程用保護フィルム、両面粘着テープ等の差別化製品の出荷が好調に推移したことで、2Q累計決算は計画を上回る 20.3%増収、133.0%営業増益で着地。上期業績が計画を上回ったことに加えて、下期についてもスマホ用有機EL向け製品の拡大が見込まれることを踏まえて、通期業績計画を上方修正。(多功 毅)
SCREEN HD (7735) 東証1部 10,880円 100株	上期決算は前年同期比 13.0%増収、38.9%営業増益。3D NAND、DRAM向け投資が活況で、上期として過去最高の売上、営業利益を更新し通期計画も上方修正。主要顧客の台湾TSMC向けは減速したが、メモリの他、モバイル、車載向けなどIoT、中国地場メーカー、保守メンテナンスなどの拡大で補った。今後はTSMC向けも回復する見込みで、受注高は下期に向けて一段増に向かう展開になることが期待される。(松本 直志)
サカイ引越 (9039) 東証1部 6,290円 100株	ドライバー不足を主因に受注競争が減少し、平均単価が大幅に上昇している。業界トップの当社は相対的にドライバー、拠点数の確保で優位に立っており、2Q累計決算は 15.1%増収、93.8%営業増益で着地。1Q時の上方修正予算を据え置いた結果、下期は 1.3%増収、30.7%営業減益計画となっているが、現在の好需給を踏まえれば、再増額が期待される。中期的には法人契約の成長と、近年M&Aを進めてきた電気工事やクリーンサービス事業とのシナジーに期待。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室